議案第1号

岩木川改修100周年記念事業の実施結果について

資料－1

直轄改修開始年

（内務省秋田土木出張所岩木川改修事務所開設）

大正7年（1918）

→ **99周年** 平成29年（2017） → **100周年** 平成30年（2018）

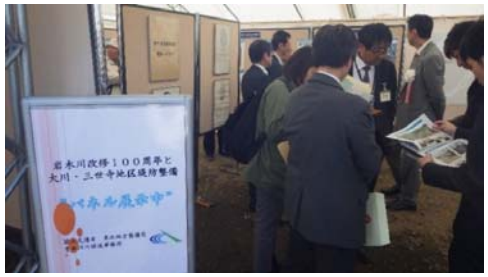
☆99周年（平成29年）プレイベント

●実行委員会設立（H29.7.3）

○広報活動開始
- ・ポスター・チラシ・新聞広告・懸垂幕作成　等
- ・ホームページの開設

○岩木川改修事業パネル展
- ・流域市町村で順次開催

●十三湖水戸口突堤選奨土木遺産認定記念プレート除幕式（H29.11.25開催）



パネル展
（H29.4.23）



記念プレート除幕式
（H29.11.25）

☆100周年（平成30年）イベント

主催事業

●岩木川改修100周年　記念碑除幕式（8/4）

●岩木川改修100周年記念　岩木川シンポジウム（12/1）・・・P2

●岩木川船上合同巡視（8/29、31）

●広報活動（巡回パネル展5/10～11/18、懸垂幕等）

●岩木川改修100周年記念事業記録誌・・・P3

共催事業

●岩木川下流部「ヨシ原の火入れ」（4/21）

●浅瀬石川ダム管理30周年記念シンポジウム（10/11）・・・P4

協力事業

●流域沿川市町村夏まつり等（立佞武多、ねぶた等）での広報・宣伝（8/4～12/2）

●岩木川クリーンアップ大作戦（6月～10月）

●河川技術講演会（あおもりの川を愛する会）（8/4）

●水資源環境フォーラム（岩木川環境公共ネットワーク協議会）（8/8）

●津軽白神湖まつり（9/15）

●りんごの里板柳 まるかじりウォーク2018
（りんごの里板柳まるかじりウォーク実行委員会）（10/8予定）※雨天中止

●岩木川改修100周年記念ウォーキング　in五所川原
～歩いて学び・知る“岩木川改修100年の歩み”～
（青森県ノルディック・ウォーク連盟）（10/14）

※●：今後も引き続き継続、実施団体を支援していきます

平成30年度　記念事業実施状況

主催事業

●岩木川改修100周年記念シンポジウム（12/1）

➢ 岩木川改修事業が100周年という節目を迎える今期を機会に、一世紀にわたる事業の足跡と水害の歴史を振り返るとともに、改修事業に関わった諸先輩方の業績や教訓を後世に伝え、地域とともに水害に備えた地域づくりや流域全体の魅力や活力などについて考えることを目的に「地域の宝・岩木川を未来へ継承し、未来へ発信する」をテーマにシンポジウムを開催し、約400名の方（満席）が聴講。

■日時：12月1日（土）13：30～16：30
■場所：五所川原市内（オルテンシア）
■主催：岩木川改修100周年記念事業実行委員会

内　容

- **オープニングアトラクション「津軽三味線」**
  - ・五所川原第一高等学校　津軽三味線部
- **開会挨拶**
  - ・実行委員会会長　五所川原市長
  - ・東北地方整備局長
- **来賓挨拶**
  - ・青森県副知事
- **基調講演　「岩木川の歴史と改修の歩み」**
  - ・八戸工業大学大学院　教授　佐々木　幹夫氏
- **岩木川改修100周年記念ビデオ上映**
  「現在を魅る津軽の郷　“岩木川”」
- **現在の取り組み紹介「岩木川河川整備の状況」**
  - ・青森河川国道事務所長
- **パネルディスカッション**
  「地域の宝・岩木川を未来へ継承し、未来へ発信する」
  - ・東奥日報社弘前支社 編集部長　石鉢 康範氏
  - ・青森県防災士会 代表理事　小山内 敬子氏
  - ・弘前路地裏探偵団 団長　鹿田　智嵩氏
  - ・五所川原市観光物産課 立佞武多制作者　福士裕朗氏
  - ・弘前大学農学生命科学部　教授　東　信行氏
  - ・東北地方整備局　河川部長　高村　裕平氏
- **閉会挨拶**
  - ・実行委員会副会長　弘前市長



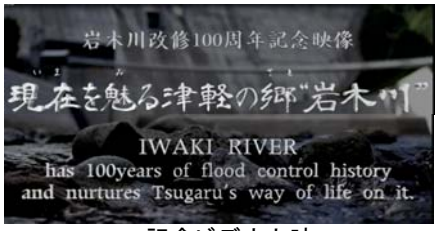

オープニングアトラクション
津軽三味線


開会挨拶
五所川原市長


挨拶
東北地方整備局長


来賓挨拶
青森県副知事


基調講演
八戸工業大学大学院 佐々木教授



記念ビデオ上映


ビデオ制作総合プロデュース
請川博一氏


現在の取り組み紹介
青森河川国道事務所長



パネルディスカッション


閉会挨拶　弘前市長

平成30年度　記念事業実施状況

主催事業

●岩木川改修100周年記念事業 記録誌

- 岩木川改修100周年の改修事業のあゆみや100周年記念事業の活動内容等をまとめた記録誌を作成する。
- 今回の100周年を節目とし、治水事業の足跡や主な出来事をまとめるとともに記念事業が流域全体での取り組みであったことを伝える。
- 実行委員会構成機関、シンポジウム出演者等へ配布予定。

岩木川改修１００周年記念事業記録誌構成

1. 表紙

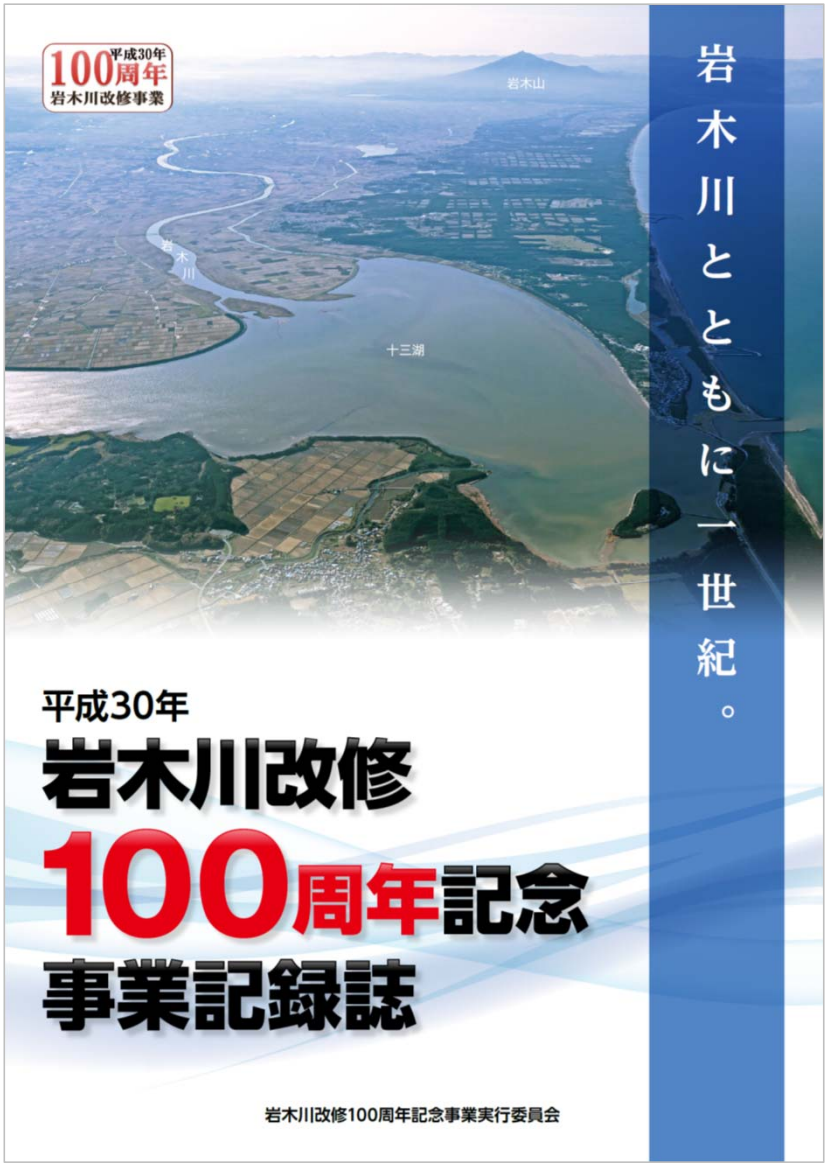
2. 発刊にあたり

3. 岩木川改修100周年記念事業実行委員会構成メンバー

4. 活動の記録

5. 岩木川改修100周年記念事業
   - ○十三湖水戸口突堤選奨土木遺産認定記念プレート除幕式（H29.11.25）
   - ○岩木川改修100周年記念碑除幕式（H30.8.1）
   - ○岩木川船上合同巡視（H30.8.29、8.31）
   - ○広報活動
     - ①巡回パネル展（H30.5.10～11.18）
     - ②懸垂幕の掲示
   - ○下流ヨシ原の火入れ（H30.4.21）
   - ○浅瀬石川ダム管理30周年記念シンポジウム（H30.10.11）
   - ○河川技術講習会（H30.8.4）
   - ○津軽白神湖まつり（H30.9.15）
   - ○岩木川改修100周年記念ウォーキングin五所川原（H30.10.14）
   - ○岩木川シンポジウム（H30.12.1）
     - →主催、来賓挨拶、開催状況、議事録、アンケート結果

6. 岩木川治水事業のあゆみ



平成30年度　記念事業実施状況

共催事業

●浅瀬石川ダム管理30周年記念シンポジウム（10/11）

- 浅瀬石川ダムが完成してから今年で30周年の節目の年を迎えることを記念し、黒石市の津軽伝承工芸館においてシンポジウムを開催。平日にもかかわらず、会場を埋め尽くす程の約200名の方が来場。
- 浅瀬石川ダムがもたらす“水の恵み・安全・安心”への関心の高さを知ることができた。





大勢の方が駆けつけたシンポジウム会場の様子

＜関連行事＞
- ●5月12日（土）～13日（日）
  - ・西目屋村の水陸両用バスの浅瀬石川ダム虹の湖運航（水陸両用バス津軽白神湖in虹の湖）
  - ・浅瀬石川ダムクレストゲート試験放流＆ライトアップ
- ●7月29日（日）
  - 森と湖に親しむ旬間
  - ダム湖ふれあいデー （虹の湖公園）
- ●浅瀬石川ダム30周年ねぶた





基調講演
～水の価値を知ろう、有無だそう、伝えよう～



パネルディスカッション
～水が結び、育む人と地域～津軽の水の可能性を再考する～

参考資料

平成30年度　記念事業実施状況

主催事業

●岩木川改修100周年 記念碑除幕式（8/4）

➢ 五所川原出張所構内において、関係者約80名が出席し、復元した岩木川改修記念碑の除幕式を開催。





復元した　岩木川改修記念碑

岩木川改修記念碑　碑文内容

（石碑に刻まれた文章を意訳）

大正十年九月十六日　陸奥五所川原　川村善八撰
弘前　高山松堂書

岩木川は津軽の大河であり、美田三万以上もの灌漑に役立ってきた。しかしながらその水害も大きく、弘前藩は時に防備を周到におこない、その害をやや緩めることに成功してきた。

維新後は青森県の事業として、これに当たってきたが弘前藩時代のようには行かず、森林の荒廃は進み、そうしたときに水利れなども起きていたのである。

水害が頻発し地方が次第に苦しくなるに至って明治十三年か十四年の頃、大原（重徳）参議が十三湖の湖口を視察しにきた。また内務省の技師も、視ることしばしば行くことにもせず調査に没頭し、ついに帝国議会に請願の建白を行う運びとなったのである（ただしこの際の調査では実現しなかった）。

算では賄うことができない額となり、着工は実現しなかった。

この地方の志士たちは一躍奮起して、明治四十三年、青森県議会が、岩木川改修工事を国費をもって進めるよう内務大臣あてに請願することを建議した。

そのいきさつが記された明治四十四年の稜威書（建白に対する返答）によれば、当初（明治十三～四年頃）は国費ではなく県費にて工費を補い、町村長もこれを担むことができなかった。また、帝国議会への請願も、その後等閑視出しなければならず、その都度許可を得なければならないことが決まって、地元の望む国費による長期計画としては採択されなかった。

その年、有志が相談して「岩木川改修期成同盟会」を設立し、必要な陳願運動を行い、ついに県当局も、担当官や技師を派遣するなどの需がほぼ成立するにいたった。

同盟会の熱心な請願活動の結果、大正七年に岩木川改修工事は十カ年継続の国の直轄事業として認められたが、その年の帝国議会決議によれば、「岩木川改修工事費用七百万円」などと決議されている。

翌年、臨時県議会においても県費負担のことが決定され、ついにこの地方にとって長年の望みが達せられた。すなわち工期終から十年後には、永らく続いた財政負担から解放され、この地方の人々は生きることに楽しみを覚えるに至ったのである。実に、ありがたくめでたい御代の余沢が、骨髄にまで行き渡ったと云うべきであろう。

したがってこの地方の人々は、振り返ってみてこの大事業が誰の力によってなされたことか、忘れてはならないのである。

むろんこれは、上は中央内閣および地方の重要な地位の人々をはじめ、下は地方の志士や仁者に至るまで、多くの人々の尽力によるものである。彼らが互いに助け合い力を合わせながらも焦心、苦慮したうえで折衝を重ね、奔走した結果、ここに至ったのである。

ここに期成同盟発足の経緯を記して、今後の戒めとして、またこの事業の意味をもって様々に考えてくれることを期待して、謹んでそのあらましをここに刻んだ次第である。



～オープニングアトラクション～
五所川原立佞武多囃子
（ねぶた製作団体 漣 の皆様）



来賓挨拶
八戸工業大学大学院　佐々木教授
（岩木川河川整備委員会委員長）



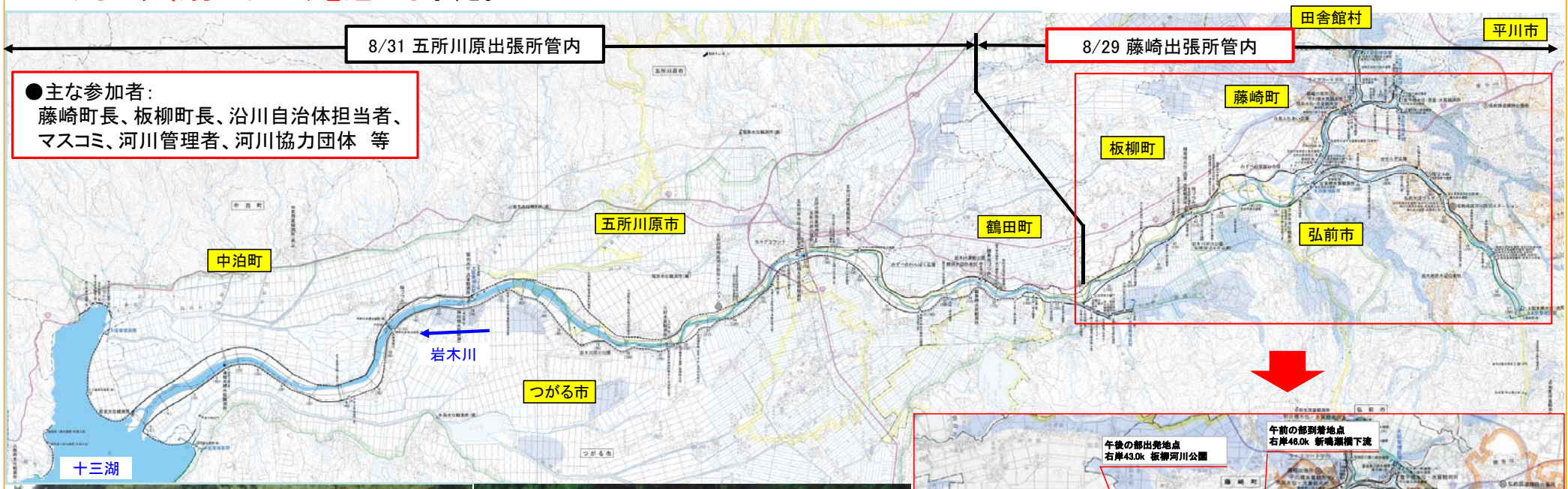
岩木川の治水に関する石碑全8カ所をマップ付きで紹介したパネルを展示

平成30年度　記念事業実施状況

主催事業

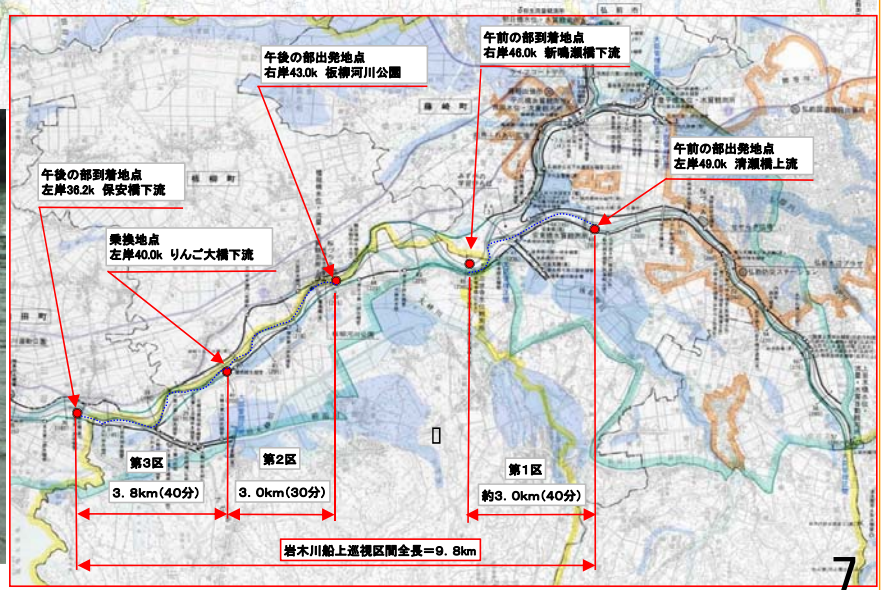
●岩木川船上合同巡視（1日目：8/29 上流区間：藤崎出張所管内）

- 8月29、31日の2日間で、沿川首長や河川協力団体、マスコミ等約50人が参加し、船上合同巡視を実施。
- 3艇に分かれ、川の中から河岸の浸食、樹木等の繁茂状況等の確認、危険箇所等の点検、そして今後の岩木川のあり方・利活用のための調査・情報共有を行った。
- 今回の巡視では、特に緊急に整備を要する危険箇所は無く、今後は必要に応じて整備を行い、一般の方にも利用していただけるよう環境・川づくりを進める予定。







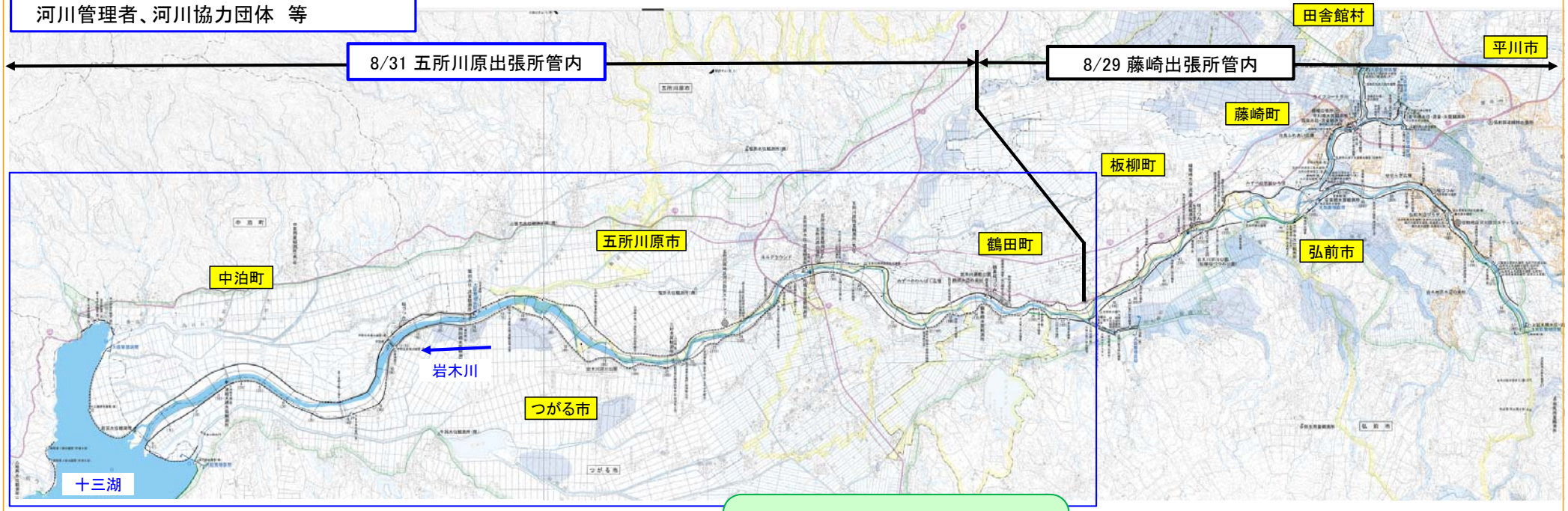


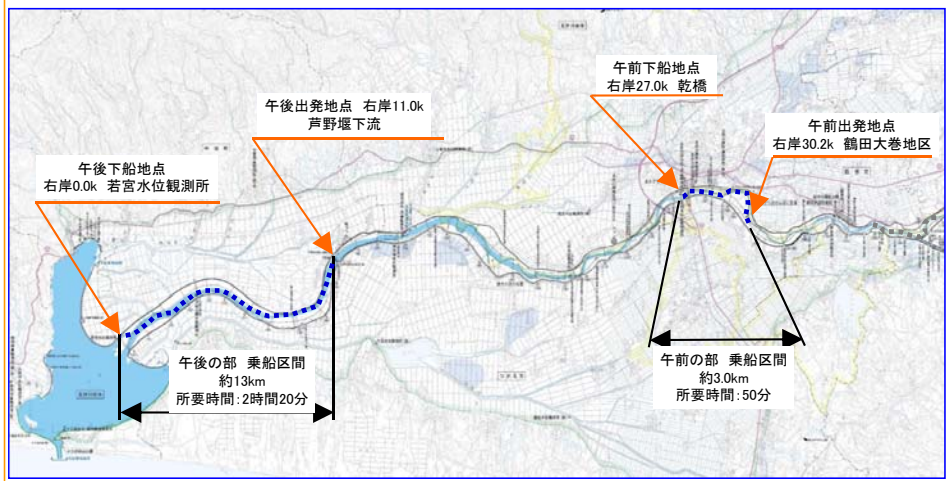
平成30年度　記念事業実施状況

主催事業

●岩木川船上合同巡視（2日目：8/31 下流区間：五所川原出張所管内）

●主な参加者（予定者含む）：
鶴田町長、中泊町長、沿川自治体担当者、河川管理者、河川協力団体　等





＜参加された首長さんからのコメント＞
・初めて川の中から岩木川を見せてもらい、津軽平野を潤している岩木川の恵みを強く感じた。
・川の大切さを真剣に考える良い機会を得たと思った。


午前の部　鶴田町長


橋上からの撮影（8/29）

※強風により午後は中止となった

平成30年度　記念事業実施状況

主催事業

●広報活動（巡回パネル展、懸垂幕、ポスター、チラシ、ホームページ）

➢ 巡回パネル展

日時	場所	会場
5/10～5/22	五所川原市	立佞武多の館　1階ホール
6/18～7/2	弘前市	ヒロロスクエア　3階
7/11～7/25	中泊町	中泊町庁舎内
8/8～8/16	板柳町	板柳町役場　1階ホール
9/11～9/21	西目屋村	津軽ダム資料展示室
10/11	黒石市	津軽伝承工芸館
11/17～11/18	藤崎町	スポーツプラザ藤崎



五所川原市
立佞武多の館1階ホール
（H30.5.10）



弘前市
ヒロロスクエア　3階
（H30.6.18）



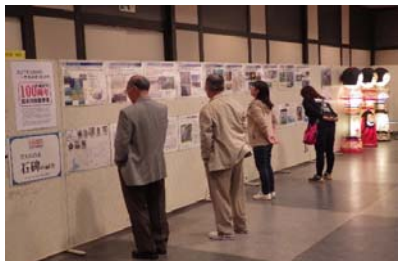
中泊町庁舎内
（H30.7.12）



板柳町役場　1階ホール
（H30.8.10）



西目屋村　津軽ダム資料展示室
（H30.9.15）



黒石市　津軽伝承工芸館
（H30.10.11）

➢ 懸垂幕の掲示

・五所川原市、つがる市、弘前市、西目屋村、田舎館村
・青森河川国道事務所、五所川原出張所



五所川原市役所



つがる市役所



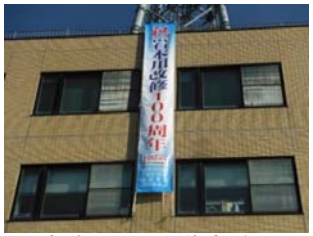
西目屋村役場



田舎館村役場



弘前市役所



青森河川国道事務所



五所川原出張所

➢ 他、ポスター、チラシ、ホームページでの情報提供を実施

平成30年度　記念事業実施状況

共催事業

●岩木川下流部「ヨシ原の火入れ（4/21）

- 岩木川下流部「ヨシ原」は、貴重な生物の生息・繁殖地となっているが、地域が伝統的に実施してきたヨシの刈り取りや火入れが行われなくなり、ヤナギなどの進入により、環境劣化が進行し、環境改善と保持が喫緊の課題。
- そこで、今年、岩木川の改修100周年となることを契機に、環境の保全のため、ヨシ原の火入れの復活に向け、「岩木川ヨシ原の火入れ検討会」を組織し、現地実験実施。当日は火入れ作業関係者等約100名が参加。





火入れ前の説明の様子



火入れ作業スタート



沢山の関係者や見学の方々



地域伝統の復活 「火入れ」





4月21日実施状況

平成30年度　記念事業実施状況

協力事業

●流域沿川市町村夏まつり等での広報・宣伝（8/4～12/2）

➢ 夏祭り（立佞武多やサマーフェスティバル等）で100周年ロゴマーク等をいれてPR。

H30.10.1時点

市町村	まつり	機関	内容
五所川原市	夏祭り （立佞武多）	8/4～8/8	・立佞武多の先頭宣伝車に岩木川改修100周年の看板を設置。
中泊町	なかどまりまつり	8/10、11	・ロゴマークの掲示
西目屋村	津軽白神湖まつり	9/15	・100周年タイトルの掲示
鶴田町	つるたまつり（ねぶた）	8/10、11	・100周年PRの掲示
板柳町	①りんごの里いたやなぎ花火大会 ②りんごの里板柳まるかじりウォーク ③町民祭	①8/11 ②10/8 ③12/1～12/2	・①、②、③ロゴマーク等の掲示 ※②は台風のため中止
藤崎町	第6回ふじさき秋まつり	11/17～11/18	・ロゴマークの掲示



H30.8.4
五所川原立佞武多



H30.8.11
なかどまりまつり



H30.9.15
西目屋村　津軽白神湖まつり



H30.8.11　板柳町
りんごの里いたやなぎ花火大会



H30.10.8　板柳町
まかじりウォーク→雨天中止



H30.11.17～18　藤崎町
ふじさき秋まつり





H30.8.10
つるたまつり

平成30年度　記念事業実施状況

平成30年 100周年 岩木川改修事業

協力事業

●岩木川クリーンアップ大作戦（6/15~11/26）

- 岩木川流域全川において統一的な清掃活動を展開中。
- 今回の岩木川100周年を契機に今後も岩木川流域一体の環境美化活動として継続してもらう。

市町村	団体名等	直轄区間	直轄区間外	参加人数
五所川原市	①神原堤防保護組合 ②蒔田堤防保護組合 ③下藻川地区堤防組合 ④藻川グリーンクラブ ⑤友会倶楽部 ⑥三好草刈り部隊 ⑦高瀬町内会 （9/8～9、9/15～17）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		①13名 ②7名 ③61名 ④31名 ⑤6名 ⑥8名 ⑦50名
西目屋村	（株）前山組（6/15）		○	12名
板柳町	①板柳町老人クラブ連合会（7/6） ②青い森信用金庫　板柳支店（7/7）	○ ○		①13名 ②10名
青森河川国道事務所	①(株)キタコン（6/20, 10/10）[弘前市、鶴田町] ②岩木川漁協協同組合（7/8）[弘前市] ③十三漁業協同組合･車力漁業協同組合(7/12)[五所川原市] ④(株)みちのくクボタ（7/28）[藤崎町] ⑤(株)大成コンサル(11月まで毎月実施)[弘前市] ⑥北地区コミュニティ会議（8/5）[弘前市] ⑦日本振興（株）東北支店（9/22）[五所川原市] ⑧弘前航空電子(株)(9/29)[弘前市] ⑨ニッカウィスキー弘前工場(10/4)[弘前市] ⑩(株)増川プロジェクト技建(10/20)[弘前市]	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		①延べ24名 ②14名 ③101名 ④67名 ⑤延べ23名 ⑥25名 ⑦13名 ⑧70名 ⑨45名 ⑩24名
	計20団体			**計617名**（延べ人数含む）



板柳町老人クラブ連合会の皆さん



青い森信用金庫板柳支店の皆さん



（株）みちのくクボタの皆さん



日本振興（株）東北支店の皆さん



岩木川クリーンアップ 実施位置図

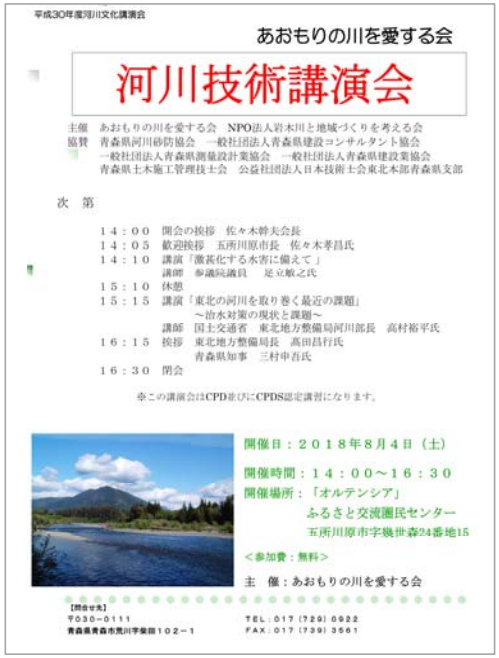
（株）前山組の皆さん

※来年度以降も引き続き、継続して実施し、情報共有を図っていきたい。

平成30年度　記念事業実施状況

協力事業

●河川技術講演会（8/4）



平成30年度河川文化講演会

あおもりの川を愛する会

河川技術講演会

主催　あおもりの川を愛する会　NPO法人岩木川と地域づくりを考える会
協賛　青森県河川砂防協会　一般社団法人青森県建設コンサルタント協会
一般社団法人青森県測量設計業協会　一般社団法人青森県建設業協会
青森県土木施工管理技士会　公益社団法人日本技術士会東北本部青森県支部

次　第

14：00　開会の挨拶　佐々木幹夫会長
14：05　歓迎挨拶　五所川原市長　佐々木孝昌氏
14：10　講演「激甚化する水害に備えて」
講師　参議院議員　足立敏之氏
15：10　休憩
15：15　講演「東北の河川を取り巻く最近の課題」
～治水対策の現状と課題～
講師　国土交通省　東北地方整備局河川部長　高村裕平氏
16：15　挨拶　東北地方整備局長　高田昌行氏
青森県知事　三村申吾氏
16：30　閉会

※この講演会はCPD並びにCPDS認定講習になります。

開催日：２０１８年８月４日（土）
開催時間：１４：００～１６：３０
開催場所：「オルテンシア」
ふるさと交流圏民センター
五所川原市字鳥井森24番地15
<参加費：無料>
主　催：あおもりの川を愛する会

【問合せ先】
〒030-0111
青森県青森市荒川字柴田102-1
TEL：017（729）0922
FAX：017（739）3561



開会の挨拶
佐々木幹夫会長



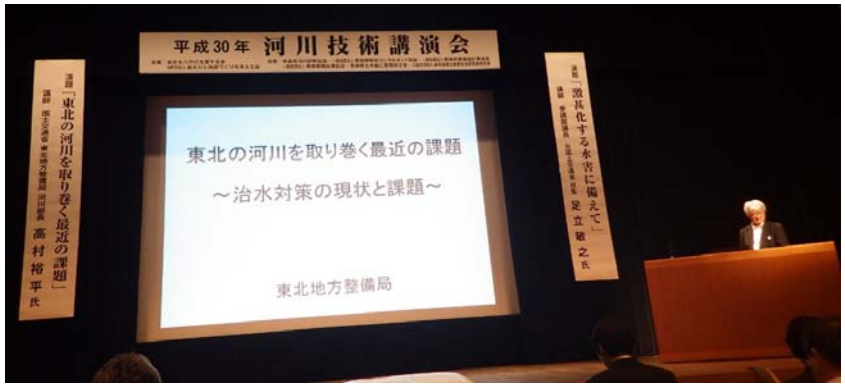
歓迎挨拶
五所川原市　佐々木孝昌市長



講演　参議院議員　足立敏之氏



会場の様子



講演　東北地方整備局　河川部長　高村裕平氏

平成30年度　記念事業実施状況

協力事業

●水資源環境フォーラム（8/8）

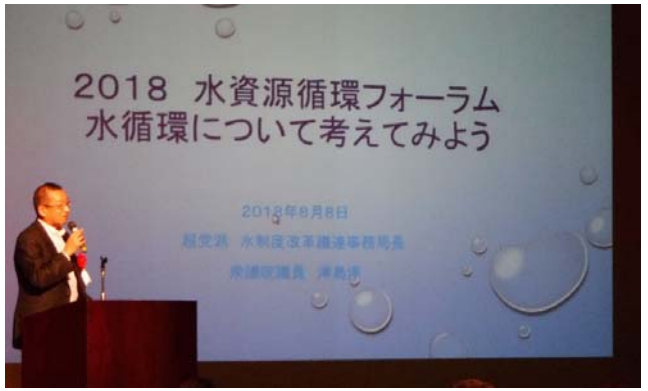




開会挨拶
中泊町　濱舘豊光町長



講演　青森県　三村申吾知事



講演　衆議院議員　津島淳氏



会場の様子



トークセッション

平成30年度　記念事業実施状況

協力事業

●津軽白神湖まつり（9/15）

- 岩木川改修100周年・白神山地世界自然遺産登録25周年の節目の年として、西目屋村が主体となって開催。
- 当日は絶好の青空の下、約1，500名もの来場者が、『カヌー・SUP体験』、『水陸両用バス』などを体験。
- また、『岩木川＆白神山地クイズ大会』や関西目屋村長、NPO法人「岩木川と地域づくりを考える会」佐々木会長、歌手の吉幾三さんを交えての岩木川や津軽ダムに関わる『トークショー』など多彩なイベントで盛り上がった。









『記念放流』の迫力に圧倒！！



水陸両用バス



津軽白神湖でのカヌー体験



トークショー
中央が“好きです西目屋ふるさと親善大使”で歌手の吉幾三さん。



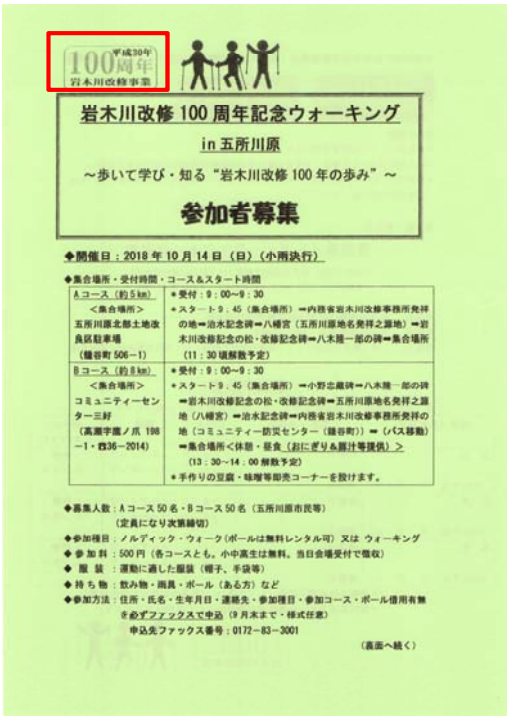
岩木川流域自治体物産販売ブース

平成30年度　記念事業実施状況

協力事業

●岩木川を歩く（10/14）

- 青森県ノルディック・ウォーク連盟において、五所川原市周辺に建立された岩木川の治水に関する石碑を歩きながら学んで知ってもらい、治水事業への理解を深めてもらおうとウォーキングイベントを開催。
- 五所川原市長の開会挨拶の後、晴天に恵まれた爽やかな秋空のもと、約70名が参加し汗を流した。



平成30年 100周年 岩木川改修事業

岩木川改修100周年記念ウォーキング

in 五所川原

～歩いて学び・知る“岩木川改修100年の歩み”～

参加者募集

◆開催日：2018年10月14日（日）（小雨決行）

◆集合場所・受付時間・コース＆スタート時間

Aコース（約5km） <集合場所> 五所川原北部土地改良区駐車場 （鎌谷町506－1）	・受付：9：00～9：30 ・スタート9：45（集合場所）➡内務省岩木川改修事務所発祥の地➡治水記念碑➡八幡宮（五所川原地名発祥之源地）➡岩木川改修記念の松・改修記念碑➡八木隆一郎の碑➡集合場所 （11：30頃解散予定）
Bコース（約8km） <集合場所> コミュニティーセンター三好 （高瀬字鹿ノ爪198－1・☎36－2014）	・受付：9：00～9：30 ・スタート9：45（集合場所）➡小野忠蔵碑➡八木隆一郎の碑➡岩木川改修記念の松・改修記念碑➡五所川原地名発祥之源地（八幡宮）➡治水記念碑➡内務省岩木川改修事務所発祥の地（コミュニティー防災センター（鎌谷町））➡（バス移動）➡集合場所＜休憩・昼食（おにぎり＆豚汁等提供）＞ （13：30～14：00解散予定） ・手作りの豆腐・味噌等即売コーナーを設けます。

◆募集人数：Aコース50名・Bコース50名（五所川原市民等）
（定員になり次第締切）
◆参加種目：ノルディック・ウォーク（ポールは無料レンタル可）又は ウォーキング
◆参 加 料：500円（各コースとも。小中高生は無料。当日会場受付で徴収）
◆服　装：運動に適した服装（帽子、手袋等）
◆持 ち 物：飲み物・雨具・ポール（ある方）など
◆参加方法：住所・氏名・生年月日・連絡先・参加種目・参加コース・ポール借用有無
※必ずファックスで申込（9月末まで・様式任意）
申込先ファックス番号：0172－83－3001
（裏面へ続く）





担当者から説明をきいている状況





岩木川堤防天端でのウォーキングの様子



昭和10年洪水当時の新聞記事を確認